



あらためて次代のスポーツ環境を考える～しくみづくりと人づくり～

総合型クラブにおける 次代の人材確保・育成について考える

－総合型クラブ界隈の外では、どのようなになっているのか？－

氏名：井澤 悠樹

所属：東海学園大学スポーツ健康科学部

専門：スポーツマネジメント
スポーツマーケティング

Email：izawa-y@tokaigakuen-u.ac.jp



アウトライン

2

と だれかとつながる。
ともにいきる。
TOKAI GAKUEN UNIVERSITY
School of Health and Sport Science

- 若年層の社会意識と大学生の就労意識
- スポーツ科学系学部生の進路意識と総合型クラブ
- まとめにかえて

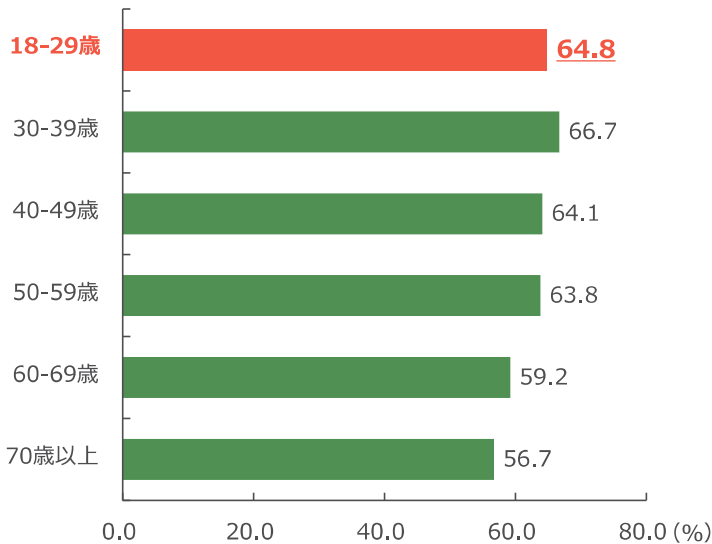


若年層の社会意識

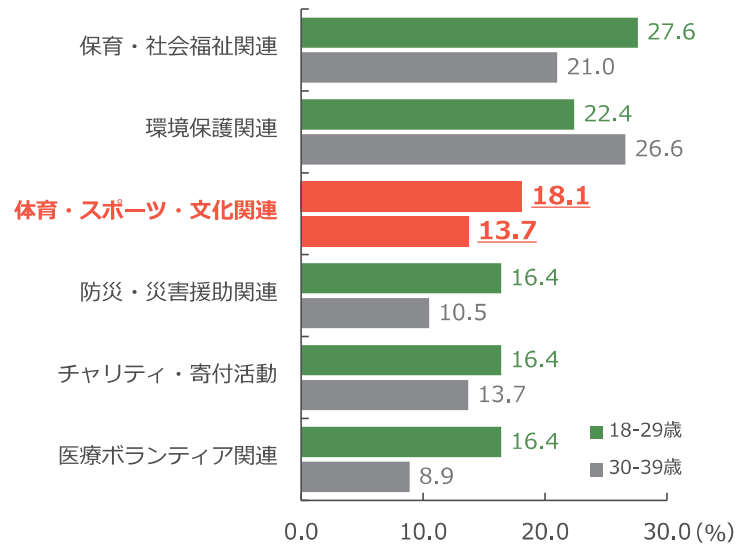
と だれかとつながる。
ともいえる。
TOKAI GAKUEN UNIVERSITY
School of Health and Sport Science

● 社会への貢献意識 (内閣府, 2024)

何か社会のために役立ちたいと思っている



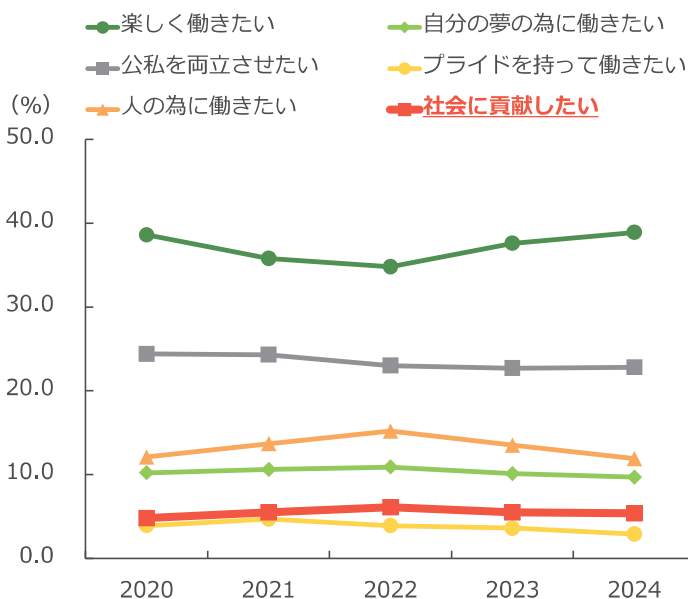
社会への貢献内容



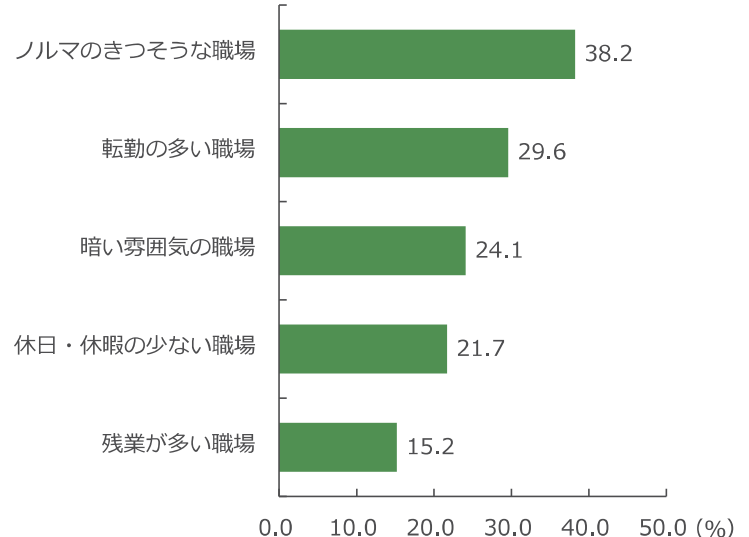
大学生の就労意識

と だれかとつながる。
ともいえる。
TOKAI GAKUEN UNIVERSITY
School of Health and Sport Science

● 大学生の就職観と進路選択のポイント (マイナビキャリアリサーチLab)

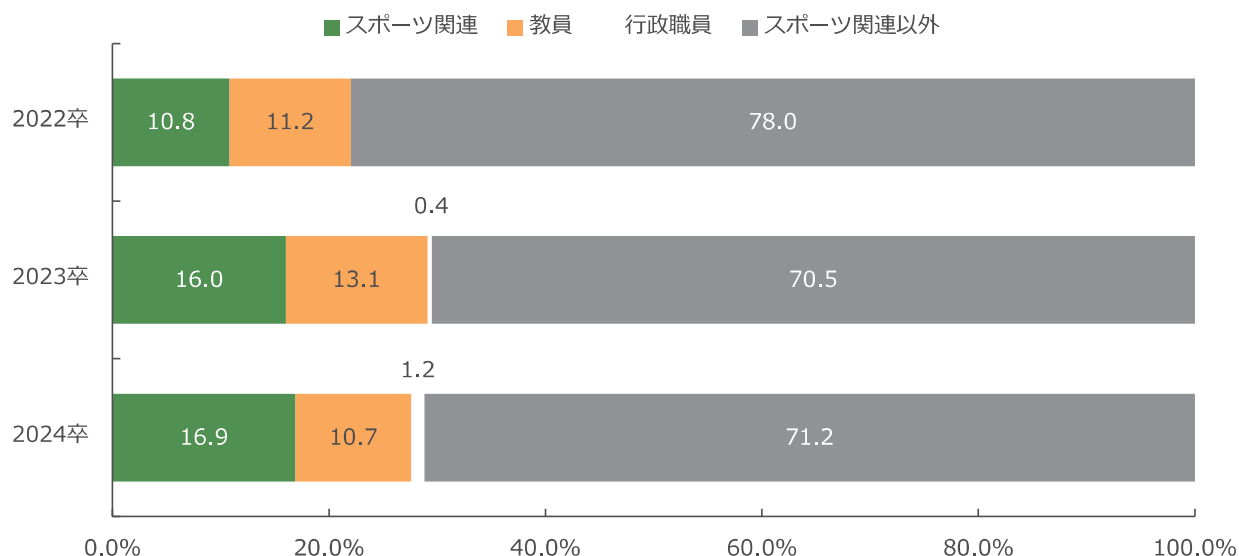


行きたくない職場 (複数回答)



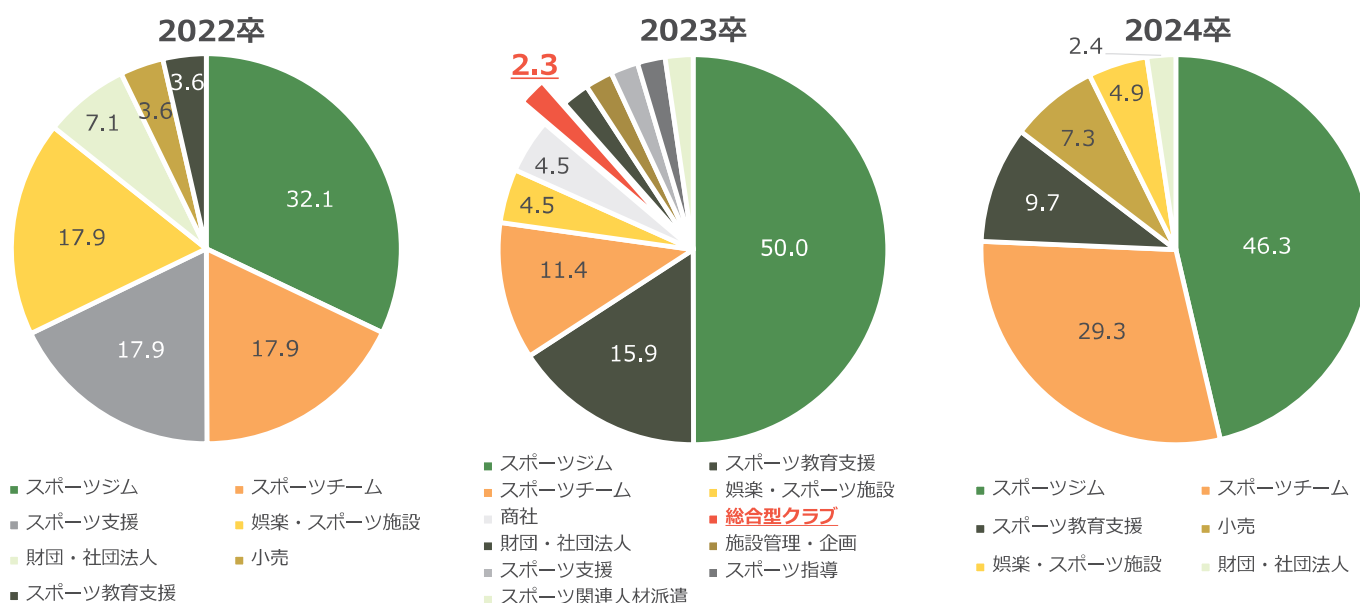
大学生の進路状況

● 某スポーツ科学系学部卒業生の場合：就職先



大学生の進路状況

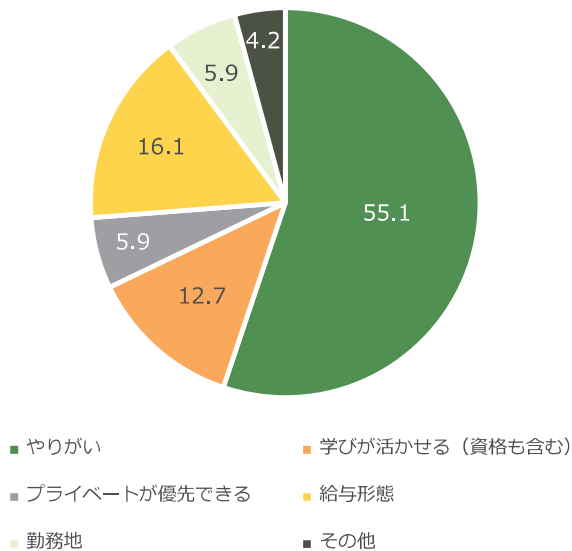
● 某スポーツ科学系学部卒業生の場合：就職先



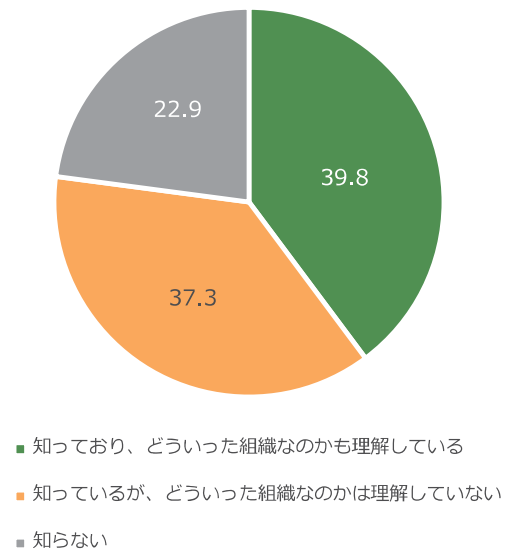
大学生の進路意識

● 某スポーツ科学系学部在学生の場合

進路選択で重要視する要因



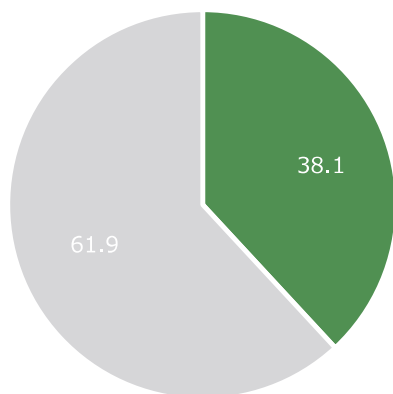
総合型クラブの認知



大学生の進路意識

● 某スポーツ科学系学部在学生の場合：

進路選択としての総合型クラブ



- 進路選択の候補として考える
- 進路選択の候補としては考えない

進路としての総合型クラブ

- ✓ 地域に貢献できる・地域活性化に関われる・地域住民と関われる
- ✓ 地元が好き
- ✓ スポーツに携わることができる・スポーツを教えたい

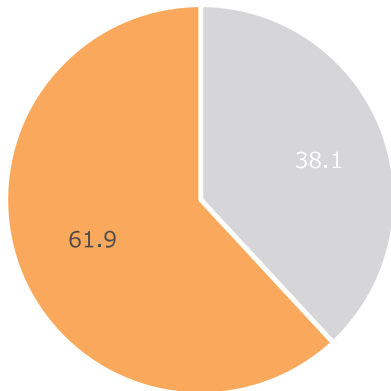
好きな地元で
好きなスポーツを通して
地域に貢献できる職場



大学生の進路意識

● 某スポーツ科学系学部在生学生の場合：

進路選択としての総合型クラブ



■ 進路選択の候補として考える

■ 進路選択の候補としては考えない

進路としての総合型クラブ

- ✓ 興味がない・自身の関心が別にある・やりたいことが他にある
- ✓ 実態が分からない・よく分からない
- ✓ 大変そう・生活に不安がある

興味関心や社会的信用の
外側の存在



次代の人材確保・育成に向けて

● 総合型クラブの原点回帰：地域におけるクラブの在り方再考

➤ そもそも、**クラブ**とは？

クラブ (club) とは、

- ・ “みんな” お金や知恵を出し合う。

👉 地域のクラブとは、自分たちが住む地域において **自発的に行う活動を、地域のみんなが必要な資源を持ち寄って活動**する組織。

“みんな” を “地域のみんな” (=ステークホルダー) として向き合う



お客様として向き合う
クラブ関係者



お客様として振る舞う
地域住民

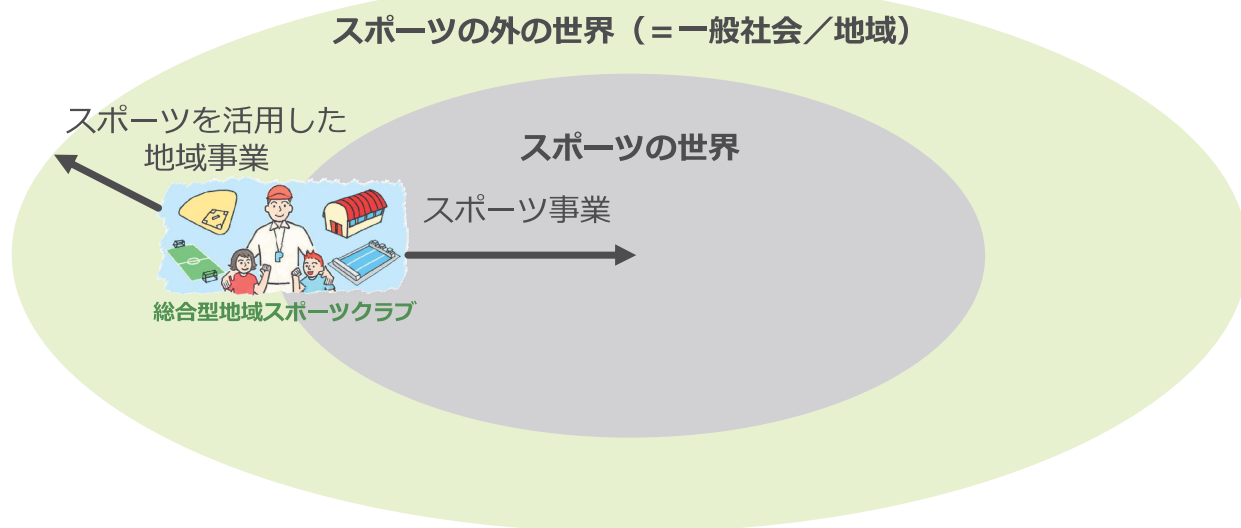


次代の人材確保・育成に向けて

と だれかとつながる。と ともにいえる。
TOKAI GAKUEN UNIVERSITY
School of Health and Sport Science

● 総合型クラブの原点回帰：地域におけるクラブの在り方再考

➤ クラブの公益性を考える：地域マネジメント組織としてのクラブ



次代の人材確保・育成に向けて

と だれかとつながる。と ともにいえる。
TOKAI GAKUEN UNIVERSITY
School of Health and Sport Science

● 総合型クラブの原点回帰：地域におけるクラブの在り方再考

➤ クラブの公益性が人材を集めてくれる

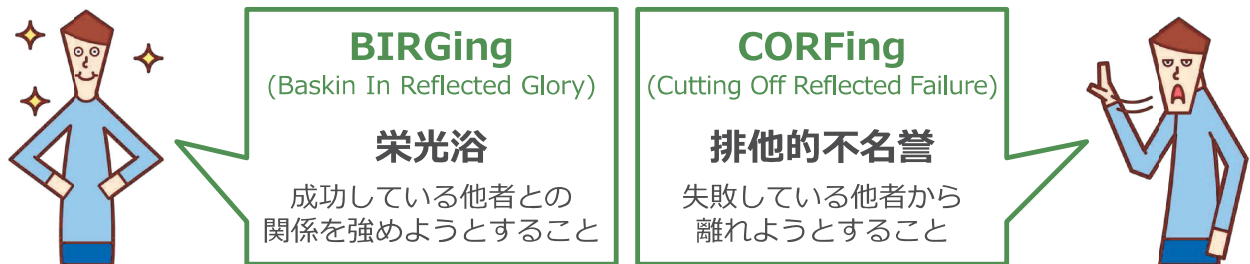


次代の人材確保・育成に向けて

● 総合型クラブの原点回帰：地域におけるクラブの在り方再考

➤ クラブの公益性が人材を集めてくれる

- ・ ヒトに備わる心理的反応：栄光浴と排他的不名誉 (Snyder et al., 1986)



- ☞ クラブが公益的な役割を担うことができれば、これまでクラブに関心を示していなかった人たちとの接点が生まれる可能性。

次代の人材確保・育成に向けて

● 人材の確保（＝短・中期的戦略）

- 人材を確保するためには、どことパートナーシップを結ぶかが重要！
 - ・ スポーツ科学系学部・大学ならOK？スポーツ外の世界へ一歩踏み出そう！
 - ・ したたかな若年層（大学生）を掌握する術を見つけ出す。

● 人材の育成（＝中・長期的戦略）

- 総合型クラブを取り巻く人的資源課題は、実は絶好のチャンス!？
 - ・ 45点を許容する姿勢で役割を手放そう！
 - ・ 子どもの会員を“仕込む”。☞ お客様ではなく後継者育成（≒地域教育）
 - ・ そもそも、人材育成の準備は整っている？（＝戦略と経営資源の準備）



クラブマネジメント努力は不可避